

平成 27 年度 第 3 回大阪府河川整備審議会 議事要旨

日 時 : 平成 27 年 8 月 11 日 (火) 18:00~20:40

場 所 : OMM ビル 2 階直結会議室専用フロア 4・5 号室

出席者 : 堀会長・綾委員・石田委員・小笠原委員・下村委員・曾和委員・田中丸委員・福田委員 計 8 名
(欠席: 多々納委員・田中委員)

まとめ

(1) 二級河川樫井川水系河川整備計画について

- ・河川整備計画(変更原案)について、委員の意見を踏まえて修正等を行い、住民意見聴取に進むこと。

(2) 二級河川津田川水系河川整備計画について

- ・委員の意見を河川整備計画(変更原案)に反映させたうえ、次回以降、継続審議とする。

(3) 近年の降雨を踏まえた取組みについて

- ・委員の意見を踏まえ、次回以降、継続審議とする。

概 要 : [以下、○委員 ●事務局]

(1) 二級河川樫井川水系河川整備計画について

- 「河川環境の整備と保全に関する目標」等における「空間利用」及び「景観・親水性」のパラグラフで、「地域住民等のニーズに応じて」という文言が多用されているので、削除するなど表現上の工夫をすること。また、兎田橋の呼び名について確認すること。
- 環境整備及び維持管理に関する表と概要図の区分等が分かりにくいので、工夫すること。
- 環境整備に関する表において、延長が記載されていない箇所がある。この理由についての説明を記載すること。
- その他、本文中の図について一部修正すること。
- 河川整備計画(変更原案)について、委員の意見を踏まえて修正等を行い、住民意見聴取に進むこと。

(2) 二級河川津田川水系河川整備計画について

- 下・中流域の景観に関する課題と目標設定の間に飛躍があるのではないかと記載について検討すること。
- 「河川環境の整備と保全」の参照として、「土のうやふとんかごによる簡易的な魚道のイメージ図」が記載されているが、この手法を用いた魚道を設置するのか、あるいはこの手法を参考にした魚道を設置するのかが、明確に読み取れないので記載について検討すること。
- 旧トウヨシノボリの分類名称に関する説明を追記してもらいたい。
- その他、本文中の確率雨量の数値及び図について、一部修正すること。
- 委員の意見を河川整備計画(変更原案)に反映させたうえ、次回以降、継続審議とする。

(3) 近年の降雨を踏まえた取組みについて

○府管理河川における外水対策の当面の治水目標は、最低限の治水安全度を設定したうえで、河川毎に事業効率等を考慮して設定しているが、内水対策である下水道事業における当面の治水目標の設定に関する考え方について確認したい。

また、答申の対象とする下水道事業の実施主体について確認したい。

●下水道事業は、府下において最低限 5 年から 10 年に 1 度の確率で発生する降雨による床下浸水を防ぐことを当面の目標としているが、浸水リスクが高く、資産等が集中している地域については、局所的にそれを上回る降雨を当面の治水目標として設定することとしている。

答申の実施主体は、府及び市町村である。

○答申の位置付けについて確認したい。

●外水対策を中心としてとりまとめた「今後の治水対策の進め方（平成 22 年 6 月大阪府策定）」を、今回主に短時間強雨を対象とした内水対策の側面等から補完し、まとめたものである。

○近年の降雨を踏まえた取組みについては、実施主体を明記した工程表を作成し、関係部局の連携の下で着実に進めてもらいたい。また、この工程表は答申に含まれるのか。

●工程表は、答申を受けることを前提として、行政が作成するものであり、答申には含めないが、参考資料には添付する。

○答申に際しては、概ねの工程表を示すことを条件とする。

○答申のまとめ方等について検討してはどうか。

○委員の意見を踏まえ、次回以降、継続審議とする。